地球環境保護を訴え

ガラス芸術で小浜恵子さん

自然保護の大切さを訴えるガラス作品と小浜恵子さん＝ギャラリーはたなかで

港区出身のガラス芸術家小浜恵子さんが五月下旬、港区役所前のギャラリーはたなかで個展「Earth…2010」を催しました。多くの区民が訪れ、美しいガラス芸術を楽しみながら、地球環境保護の大切さにも思いを寄せていました。

展示されたのは飲食器、壁掛け、時計などで、ライチョウ、ツシマヤマネコなどの希少動物や、草花、草原など自然を意識した題材が目立ちました。また、どの作品にもパート・ド・ヴェール（フランス語で『ガラスの練り粉』）と呼ばれる技法による独特の乳白色の光沢があり、それと溶け合うように淡い色彩が施されていました。

小浜さんは市岡高校を卒業後、OLを経てガラス制作を開始。独立して工房を持ち、〇一年からは一～二年に一度の個展を開催。「日本の美しい四季を感じてほしい」と草花などをモチーフに制作を続けてきました。〇七年に同ギャラリーで地球保護をテーマに個展を催したのを機に、絶滅が危惧される動物などを意識して描くようになりました。その後、自宅兼工房を三重県の自然豊かな地に移したことなどで、自然と人間生活の結びつきを一層感じるようになったと言います。

「ささやかな試みですが、これからも自然保護の大切さを感じてもらえるような作品をと思っています」。http://www.cat-glass.com

蝋燭だけで過ごす夜

21日に築光キャンドルナイト

「一年のうち二時間、蝋燭の灯りの下、空っぽの時間を過ごしてみませんか」と呼びかけるユニークな催しが今年も開催されます。

これは六月一日から実施されている「築光キャンドルウィーク」（築港一帯の店舗・画廊などで劇、演奏会などを開催）の最後を飾るクライマックス行事で、夏至の六月二十一日（月）二十～二十二時、築港赤煉瓦倉庫横の駐車場（海岸通二―七）で行なわれます。

築港地区活性化のために様々な文化企画を考え合う集まり「天保山みなアート会」の主催で三回目。

同会では当日蝋燭を並べたり片づけたりするボランティアを募集（希望者は当日十八時に現地へ）。また瓶を保存するため家庭で不要になった衣装ケースの提供も求めています。問合せは☎六五七六―〇八八〇ハaハaハaまで（衣装ケース提供者には先着でキャンドルくじが引ける特典）。http://blog.canpan.info/minaart/

昨年の「築光キャンドルナイト」の模様

おじゃましまーす　グループ訪問

水墨画・書道　華墨会

水墨画を楽しむ「華墨会」天保山教室の皆さん（中央が毛講師）

「墨に五彩あり」といわれるように、水と墨だけで自然の持つ無限の奥行きや広がり、様々な色彩までをも表現する水墨画。その一見難しそうな芸術を初歩から教えてくれる教室があると聞き、訪れました。

「華墨会」天保山教室は毎月第一・三金曜日の十三～十五時、天保山第二コーポ（築港三―七―二）の集会室で開かれています。

十年前にスタートし、現在生徒は七人。この日（五月下旬）は山水画の名作「赤城山」（現代中国の水墨画家陸厳少作）のコピーを手本に描き進めていました。墨の爽やかな匂いの中、静かに時間が流れていきます。

水と墨で奥行き無限

表現力磨き模写から創作へ

◆講師は本場中国出身

講師は本場中国（上海）出身の水墨画家・書家毛小華さん。八八年に来日してから市内中心に「華墨会」八教室を開設。港区には南市岡と弁天町にもあります。

講師の自作などを手本に生徒が教室や自宅で描いた作品を添削し、その反復を通じて基本を身に付けてもらうという指導法で、手本は簡単なものから複雑なものへレベルアップ。また写生旅行や展覧会なども組み入れて、自由で高度な創作へと進めるよう配慮しています（五月には十回目の展覧会が開かれました）。

◆自然の生命力を表現

一心に筆を進める生徒たち。時々毛講師が見回り、声をかけます。「全体をイメージしながら部分を描くこと」「技法は手段。目的は気持ちの表現。本末転倒にならないよう」「模写は技法だけでなく作者の意図をよく理解して」「木や花は命あるもの。形だけに拘らず、その生命力を伝えること。一筆一筆の勢いが大事」「墨は金。惜しむように、無駄な筆は使わないように」。

―こうした一語一語には技術上・創作上の重要なポイントが含まれているように思えました。

◆和やかな雰囲気が好き

助言を受けながら練習作品は完成に近づいていきます。手本が同じでも一人一人趣が違うのを面白く感じながら感想を訊きました。

佐藤純子さん（六〇代）は平成六年に毛講師に出会ってから続けています。「友人から『ええ趣味やね』と言われるのが嬉しい」。藤家順さん（七八）は十年目。「描く度に一つか二つ、ようでけたと思う所があり、それが楽しい」。妻の弘子さん（七三）は「夫婦で共通の話題ができ、夫が明るくなりました」。佐藤澄子さん（七五）は区役所の展覧会を観て入会し、六年目。「自作を床の間に飾るのが夢です」。竹内光子さん（八四）は佐藤澄子さんの紹介で昨春から。「もっと早くから始めたらよかった」。中野モトメさん（七一）は去年九月に入会。「宿題があるので生活にリズムと活気が生まれました」。共通していたのは「教室の和やかな雰囲気が好き」「自然をよく観察するようになった」「歳をとっても楽しく続けたい」でした。

最後に毛講師が流暢な日本語で読者に呼びかけました。「気韻生動。水墨画は感性を高め、生活に潤いを齎してくれます。ぜひ見学にお越し下さい」。☎〇九〇・二一九五・四四七九毛講師。

文化短信

演劇ガイド

●うたごえ喫茶　弁天町駅前の「うたごえ倶楽部ねこじゃらし」がじわり人気。港新聞で知った人などがピアノやアコーデオンの生伴奏で歌っている＝**写真**。「昔、梅田の歌声喫茶に通ったので、懐かしくて」などの感想。昼（土曜十四～十六時、千円）と夜（金曜十九時～二十一時半、日曜十八時～二十時半、千五百円）、一飲物付。波除五―七―六。☎六五八一―八七六〇。

●ユニット・人間やろか『あんたの顔は個人情報そのものやんか』　社会の現状をぼやく老若男女六人が「喜劇タッチで世の中のこと考えてもらお」と昨年二月に旗揚げした劇団による第三弾。何かと言うと「個人情報やから…」とガードを固める昨今の風潮を風刺する。六月二十六日（土）十四時、十六時半、同二十七日（日）十三時、十五時半の四回公演。前売千八百円、当日二千三百円、小学生以下千五百円。問い合わせ・申し込みは会場の石炭倉庫（波除六―五―一八、JR弁天町駅から国道四三号を北へ直進、安治川堤防突き当たり右すぐ。☎六五八一―〇六六四）へ。

芸能ミニ情報

●三先出身の歌手・香西かおりさん　新曲『春陽炎』『愛憐歌』（いで　はく作詞、鈴木淳作曲）好評▽六月二十四日（木）八～十時MBSラジオ「ありがとう浜村淳です」出演▽かおり倶楽部http://kouzaikaori.com/

香西かおりさん

●波除在住の演歌歌手・藤かほりさん　五月十七日に通天閣歌謡劇場でオリジナル曲『男の夢十二代』『人生荒野』他を歌う。港区から応援多数▽五月二十二、二十三日に飯田市でキャンペーン▽八月に歌詞ゆかりの浪合神社へ奉納予定▽☎六五八二―一二四一藤企画。

藤かほりさん

●弁天在住の歌手・青木美香子さん　CD『ありがとう～おかあさん～』（他に『ほれたんやから』『歌は人生』）好評▽無料ミニコンサートが六月十七、二十七日、七月七、十二日に上本町ハイハイタウン、七月四日にオーク広場で▽詳細は☎六七七〇―六七五〇アップライトエージェンシーへ。

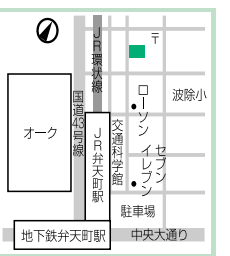
青木美香子さん

さあ夏やビン生や
なにわの銘水で造った地ビール
1本330㎖ 410円
1箱6本入り 2,280円
贈答、パーティ、キャンプ等に!
全国発送OK（送料別途要）
★ピルスナーとメルツェンの2種あります★
市岡ビール工房
地底旅行
営業時間
平日　午後5時～11時
日祝　午後4時半～9時
定休　水曜日
お問合せ
南市岡3-6-26田中機械内
☎6581－3898

赤ちゃん遊んでます!
～みんなキラキラしています～
基準保育
9～16時(8～18時も可)
保育料
収入や家庭事情により決定（市から補助あり）
♪ヴァイオリンのおけいこしませんか♪
大阪市承認　人見ベビーセンター
☎6574-3423（東條）
港区磯路2-10-1
電話はPM4:30～

珈琲館 隠岐
おいしいおいしい!　炊きたてコーヒー
マスターおすすめ!　手作りハンバーグ
営AM7:00～PM5:00　休毎週月曜日
磯路3-25-6　☎6575-3051

大好評受付中!
出前さんぱつ
月曜日に区内のご自宅や施設まで出張
カット2,000円+出張費1,000円（施設など2人以上なら無料）
ご来店料金は2,500円より
磯路2-1-21 りそな銀行前　床屋カンパニー　☎6577-5225

シャンソン喫茶 ガットネロへ
港区市岡在住のシャンソン歌手・松浦由美子の「シャンソン百物語」など楽しい企画を用意してお待ちしています
天王寺区上本町6-2-37-2F ☎6767-0012
http://www010.upp.so-net.ne.jp/gatto-nero/

土曜の午後はうたごえ喫茶
弁天町駅前 ねこじゃらし
♪14:00～16:00
♪1ドリンク付1000円
♪港区波除5-7-6
☎06-6581-8760
※ただし6/19は休みます